

ザ・2020ビジョン コモンズレター

追加型投信 / 国内 / 株式



運用責任者メッセージ

12月の内外株式市場は、11月の世界的な株価の大幅上昇を受けての展開でしたが、新型コロナワクチンの投与開始や米国で追加経済対策がまとまったことなどを好感し、年末にかけて一段高となりました。国内株式市場も、年末には日経平均株価で27,000円台を突破し30年ぶりの高値を更新しました。当ファンドは12月も設定来の最高値を更新し、5月から8ヵ月連続で高値更新を実現しています。その結果、2020年年間では+38.44%の上昇となり、同期間のTOPIX（東証株価指数）配当込みの+7.39%や日経平均株価+16.01%を大きく上回ることが出来ました。2019年が+43.99%の上昇でしたので、2年続けて市場平均を大幅に上回る結果を出すことができました。また、当月は第7期の決算となり、運用成果としての分配金も150円出ささせていただきました。難しい環境でしたが、皆さまからの応援を結果につなげることが出来たと思っています。2021年もよろしく願い申し上げます。

最高運用責任者 伊井 哲朗

◆2020年12月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/lfZHtMjkRAC>



基準価額の推移

2013年12月27日 ~ 2020年12月30日



※「分配金込基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています。※当ファンドの信託報酬率は、ファンドの純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みとなっており、当レポート作成基準日現在、年率1.265%（消費税込）です。



運用実績

2020年12月30日時点

基準価額

24,707 円

(前月末比)

△48 円 (△0.19%)

純資産総額

67.0 億円

(前月末比)

+0.4億円 (0.69%)

騰落率(分配金込)

期間	騰落率
1ヵ月	0.42%
3ヵ月	10.36%
6ヵ月	35.52%
1年	38.44%
3年	56.24%
5年	83.66%
10年	-
設定来	150.29%

分配金 (1万口当たり、税引前)

決算期	分配金
2016年12月	0円
2017年12月	0円
2018年12月	0円
2019年12月	120円
2020年12月	150円
設定来合計	270円

※「基準価額」およびその「前月末比」は分配落後です。

※「騰落率」は、基準日から過去に遡った期間です。税引前分配金を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。

※収益分配金は委託会社が決定します。分配を行わない場合もあります。



ポートフォリオの状況

ポートフォリオの構成別比率

株式	89.5%
その他	10.5%

市場別比率

東証1部	63.8%
マザーズ	18.3%
JASDAQ	5.5%
東証2部	1.8%
その他	10.5%

業種別比率

情報・通信業	27.2%
電気機器	14.7%
サービス業	13.6%
小売業	10.5%
その他製品	6.5%
化学	6.4%
機械	3.4%
医薬品	2.8%
卸売業	1.8%
精密機器	1.3%
陸運業	0.8%
不動産業	0.6%
その他	10.5%

組入上位10銘柄

銘柄	業種	銘柄概要	組入比率
1 任天堂	その他製品	据え置きゲーム機ハード、ソフトの総合大手。2017年に発売した新型据え置きゲーム機「Switch」およびソフトの販売が好調に推移。今後は有力新作ソフトの拡充に加えて、オンライン機能や「LABO」など新しいあそびの提案などに注目。	4.0%
2 エムスリー	サービス業	「インターネットを活用し、健康で楽しく長生きする人を一人でも増やし、不必要な医療コストを一円でも減らす事」を事業目的に、医療従事者向け情報サイトで製薬会社の情報提供を支援。「医療で変革を起こし続ける」をモットーに、医師のキャリア支援など医療周辺領域での事業を拡大し、成長を加速。	3.6%
3 ソニー	電気機器	世界トップシェアを誇る半導体“CMOSイメージセンサー”を成長のけん引役に、ゲーム、映画、音楽、エレクトロニクス製品でシナジーを掘り起こし、持続的な高収益、新たな価値を提供し続ける企業を目指す。	3.3%
4 KADOKAWA	情報・通信業	1945年創業。企業スピリットは、変化を恐れずに挑戦し続ける心。文芸出版社の時代、文庫と映画のメディアミックスの時代、雑誌の時代などで存在感を発揮。2014年にドワンゴと経営統合、「ニコニコ動画」などドワンゴのプラットフォームとKADOKAWAのコンテンツを融合、デジタルコンテンツ・プラットフォームとして、中長期的な成長を目指す。	2.5%
5 ダイフク	機械	1937年創業。マテリアルハンドリングシステムで世界トップクラスのサプライヤー。自動車工場や半導体工場での搬送、流通分野での仕分け・保管、空港の手荷物搬送などを手がけ、製造業・非製造業を問わず、省人化、合理化に貢献。EC（電子商取引）の普及で、消費の個性化・多様化、多品種少量化の流れが加速するなか、同社へのニーズが高まる。	2.4%
6 アンリツ	電気機器	携帯電話・基地局向けなど通信系計測機器大手メーカー。技術力を背景に海外でも高いシェアを誇る。5Gの普及拡大を追い風に売上、利益成長が見込まれる。モバイル市場向け計測器需	2.2%

		要のピークアウト後も、自動車・産業機器などIoT用途向けに5G利用の拡大が見込まれ、2020年代半ばにかけて需要拡大が続く見通し。食品業界向けの異物検出機なども展開。	
7	リクルートホールディングス サービス業	会社設立以来、60年を超えて常に変化を続け新しい価値の創造を続ける。峰岸社長は、「企業文化以外は全て変えていく」と決めて同社の変化を推進。ゼロに近かった海外売上高比率も、相次ぐ積極的なM&Aもあって、この10年で50%を超えるまでに増加。	2.1%
8	MonotaRO 小売業	2000年創業。インターネットの事業者向け購買サイト「MonotaRO.com」を運営し、製造業および建設・工事用、自動車整備用などの間接資材を通信販売する。企業理念は、資材調達ネットワークを変革する。インターネットを利用した通信販売で、規模の経済を実現し、幅広い商材と高い検索性で差別化を図る。間接資材の市場規模5兆～10兆円のなかでのシェアは1～3%程度と低く、ネット利用が進むなか、成長余力は大きい。	2.1%
9	レーザーテック 電気機器	1960年創業、半導体関連検査装置の開発、製造、販売、サービスの提供を主軸とするメーカー。“強さが発揮でき、成長できる分野に経営資源を集中する”との経営方針の下、ニッチ市場に特化し、技術力を背景に高いシェアを獲得。半導体の微細化など半導体製造工程の複雑化につれて需要拡大が見込まれ、業績拡大フェーズ入りへ。	2.1%
10	村田製作所 電気機器	国内電子部品大手メーカーで多くのグローバル高シェア製品を有する。海外売上高比率は90%超。5Gスマホ向けや基地局向けの電子部品等が業績の牽引役に。また、自動車向けでも「電動化」、「コネクテッド」、「安心・安全」等の進展につれて自動車の電装化が進み需要拡大が期待される。中期経営計画「中期構想2021」にて2021年度に売上高2兆円を目指す。	2.0%

※2020年12月30日時点

※「ポートフォリオの構成別比率」「市場別比率」「業種別比率」「組入上位銘柄」に関しては、マザーファンドについての記載となります。

※各比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

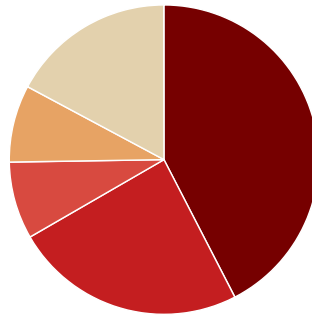
※その他とは現金等を指します。

※業種については東証33分類に基づいて記載しております。



時価総額別構成比

時価総額別構成比



- 1000億円未満: 42.0%
- 1000億円以上3000億円未満: 24.0%
- 3000億円以上5000億円未満: 8.0%
- 5000億円以上1兆円未満: 8.0%
- 1兆円以上: 17.0%

※比率はマザーファンドの純資産総額を100%として計算しております。四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。



市場概況

12月の日本市場は、月初から欧米市場のクリスマス休暇明けまで高値圏でのみみ合いとなりましたが、大納会に向けて一段高となりました。前半は米モデルナがワクチンの緊急使用許可を申請したことや、米国の追加経済対策を巡る与野党協議の進展への期待から米市場では主要3指数が最高値を更新し、欧州でも英国でワクチン接種が開始されたことで欧州市場が上昇を続けるなか、日経平均も年間の最高値を更新する動きとなりました。

後半にかけては、英国で新型コロナウイルスの変異種による感染拡大が広がったことで世界的な景気停滞懸念が台頭する一方、米ファイザーが開発したワクチンの緊急使用が許可されたことや、連邦公開市場委員会で資産買入れのフォワードガイダンスが明確化され、金融緩和の長期化が示されたことで市場の強弱感が対立し、米市場をはじめ日本市場も高値圏でのみみ合いとなりました。

クリスマス休暇明けとなった27日に、トランプ大統領が失業給付拡充や家計への現金給付などを含む9,000億ドルの経済対策に署名し成立したことで米市場が上昇し、これを好感して日本市場も急上昇となり、月末の日経平均は1991年4月以来、バブル景気後の最高値を更新して前月比1,010円高(+3.82%)の27,444円で取引を終えました。

トレーディング部 淵上 幸男



運用状況

12月、当ファンドは+0.42%の小幅な上昇となりました。東証マザーズが同期間3%近い下落になったように小型成長株の下落が影響する形となりました。

個別には月間で10%以上の上昇となった銘柄が8銘柄、また、上場来高値を更新した銘柄が13銘柄となるなど多くの銘柄でパフォーマンスをけん引している状況が続いています。

なお、当月の新規組入銘柄は4銘柄、株式組入比率はやや低下して89.5%となっています。

◆2020年12月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/lfZHtMjkRAC>

2020年12月運用報告





ノーコード×D2C=個人の時代

新年あけましておめでとうございます。本年も受益者の皆様にとって有意義な情報提供ができるよう努めてまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。

さて、新年最初となる本稿では、2020年を表すキーワードであったと個人的には感じている「ノーコード」と「D2C」をテーマに、今後の世界を展望したいと思います。

まずは簡単にこの2つの単語について解説しておきますと、「ノーコード」とは、プログラミング言語を習得していなくても、直感的な操作でwebサイト、アプリ、ソフトウェアなどが作成できるツールの総称です。企業内におけるIT人材不足を解消するためのものという意味合いで取り上げられることもありますが、ここでは特に、緊急事態宣言下で店舗営業ができなくなった小売、飲食などの業界において、ITリテラシーがそれほど高くない中小企業や個人事業主の方でも簡単にECサイトが構築できるサービスであるという点に注目します。

また、「D2C」は、「Direct to Consumer」の略で、流通業者やECプラットフォームなどを介さず、自社サイトなどから直接、消費者に販売するビジネスモデルのことです。

「ノーコード」の浸透により、自社ECサイトが簡単に作成できるようになったことから、それを介すことで「D2C」で消費者に販売することができるようになった、というのが極めて単純化した構図です。

そして、これによってもたらされた大きな変化が、「個人」が強い影響力を持つようになったことであると考えています。もともと、YouTubeが登場したことによって動画や音楽などのクリエイターが自分の作品を投稿することによって広告収入などを得ることを可能にしましたが、「ノーコード」×「D2C」によって、手芸、工芸などを始めとするさまざまなジャンルで「モノづくり」のクリエイターが、「自分でECサイトをつくり、自分の作品を売る」ことができるようになりました。

では、こうした「個人の時代」に求められるものは何でしょうか。

一言で言うなら、「熱狂」ではないかと考えています。ショップを展開するのにかかるコストや労力が下がるということは、すなわち、そのショップで利益を上げるために売り上げなければならないハードル（金額）も低くなる（副業という位置付けも可能に）ということですので、必ずしも万人受けするものを志向する必要はなく、少数であってもそのブランドの商品や世界観が深く刺さる熱狂的なファンを獲得することが重要になります。

そして、そのファンもまた、SNS等で情報を発信することが容易になっていますので、そこでどれだけ熱量ある口コミを広げてもらえるか、がブランド価値に直結します。米国ではブランド価値を計る指標として、NPS®（Net Promoter Score®）が注目されていますが、これはまさに「顧客が当該サービスを周囲の人間に推奨するかどうか」をスコア化したものです。

最後になりますが、ここまで読んでいただいた方の中には、「あれ、そもそもD2Cってどこかで見た/聞いたような気がする」とお感じになれる方もいらっしゃるかもしれません。

そうです、当社コモンズ投信を含む「直販系投信」というモデルは、まさに「投信業界におけるD2C」です。そして、当社もまさに熱狂的な受益者の皆様に支えられており、その顧客基盤こそが大きな価値であるということを改めて実感するとともに、受益者の皆様に「周囲の人にもコモンズを推奨したい」と思っただけのような圧倒的な体験価値をご提供することを目指して、本年も努力を重ねていきたいと思っています。

※NPS®は、ベイン・アンド・カンパニー、フレッド・ライクヘルド、サトメトリックス・システムズの登録商標です。

アナリスト 原嶋 亮介





POINTからのお知らせ

わたしたちコモンズ投信は、寄付のしくみPOINTを通じて、[日本視覚障害者柔道連盟](#)、[日本知的障害者水泳連盟](#)を応援しています。

12月は「欲しい未来に寄付を贈ろう」と謳う啓発キャンペーン「寄付月間」。

<https://giving12.jp/>

コモンズ投信も賛同パートナー兼リードパートナーを務めていることから、様々な公式認定企画を開催。そのひとつに、コモンズ投信の寄付（応援）先が登場するオンラインイベントも開催しました。

【オンライン】コモンズ投信の寄付のしくみ～未来を信じる力～

(12月18日(金) 19:30～21:00)

CommonsTV (youtube)にて現在もご覧いただけますので、ぜひご視聴ください！<https://youtu.be/qVgLm3YqsRM>

ご視聴くださった方々からお寄せいただいた感想を下記にご紹介いたします。

日本知的障害者水泳連盟へのメッセージ

「選手たちは真のアスリートだと感じました。」

日本視覚障害者柔道連盟へのメッセージ

「競技者の皆様へのリスペクトが伝わるお話、とても素晴らしかったです。」

そして、コモンズ投信に対しては「コモンズ投信さんの寄付により世の中への周知の機会となり、また寄付を受けた団体の方の励みとなることがわかりました。投信会社としては、他と異なることがわかりました。」といったお声を頂戴しました。受け手にとって、出し手にとって、寄付はどんな意味があるのか。双方の立場から寄付がもつ未来への力について語り合うことができました。6年目となる寄付月間をきっかけに、当社の寄付のしくみの理解を深めていただける貴重な機会となりました。

最後にご報告です。第7期決算を迎え寄付額が47万円と決定し、上記2団体に2等分の23万5000円を寄付しました。



POINT担当 馬越 裕子



お知らせ

Pick up! セミナー

最新のセミナー情報は commons 投信ウェブサイトの「[セミナー情報](#)」をご覧ください。

<http://www.common30.jp/seminar/>

◆2020年12月運用報告動画もぜひご覧ください。

<https://youtu.be/lfZHtMjkRAc>



1月もセミナーはすべてオンラインで開催いたします。ぜひお気軽にご参加ください！

こどもトラストセミナーお年玉をどう使おう？

1月11日(月・祝) 10:00～11:00

コモンズ投信運用報告会

1月16日(土) 14:00～15:30

積立投資とコモンズのファンド

1月19日(火) 14:00～15:00

教育費の貯め方とこどもトラスト

1月28日(木) 10:00～11:00

【北海道銀行共催】資産づくりをはじめよう～株式相場の変動を受けにくい運用方法はこれだ！～

1月23日(土) 10:30～11:00、14:00～14:30

【セゾン投信共催 | オンラインワークショップ】
長期投資実践中！市場に左右されないための心構えとは？

1月26日(火) 19:00～20:30

※詳細は commons 投信のウェブサイトにてご確認ください。

☆アーカイブ動画を YouTube [「COMMONSTV」](#)にて配信しております。

ぜひ、チャンネル登録をお願いいたします！☆



販売会社一覧

販売会社名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
株式会社静岡銀行	登録金融機関 東海財務局長（登金）第5号	○		○	
エース証券株式会社	金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第6号	○			
岡三オンライン証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第52号	○	○	○	
とちぎんTT証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第32号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号	○		○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	



ザ・2020ビジョンのリスクについて

基準価額の変動要因

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。なお、投資信託は預貯金と異なります。お客さま（受益者）には、当ファンドの内容・リスクを十分にご理解のうえ、ご投資の判断をしていただくよう、よろしくお願い申し上げます。なお、下記のリスクはすべてのリスクを網羅しているわけではありませんので、ご注意ください。

基準価額の変動要因となる主なリスク

株価変動リスク	当ファンドは実質的に国内の株式を組入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内の経済・政治情勢などの影響を受け変動します。株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割込むことがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引が行えない、又は取引が不可能となる場合が生じることを流動性リスクといいます。この流動性リスクの存在により、組入銘柄を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不足の損失を被るリスクがあります。



その他の留意点

収益分配金は、預貯金の利息とは異なります。収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻りに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産額の減少、基準価額の下落要因になります。



ザ・2020ビジョンの費用について

投資者が直接的に負担する費用

購入時手数料	(コモンズ投信の場合) ありません。 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社が、別途定める購入手数料を申し受ける可能性があります。なお、販売会社における購入手数料は3.3% (消費税込) が上限となっております。
換金手数料	ありません。
運用管理費 (信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.265% (消費税込) を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により逓減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額に対して年0.11% (消費税込) を上限として投資信託財産により控除されます。上記の手数料 (費用) 等の合計額については、運用状況、保有期間等に応じて異なりますので、上限等を事前に示すことができません。



お申込みメモ

その他	商品分類	追加型投信/国内/株式
	信託設定日	2013年12月27日
	信託期間	無制限 (ただし、ファンドの残存口数が10億口を下回った場合等には信託期間の途中で信託を終了させることがあります。)
	決算日	原則として毎年12月18日(休業日のときは、翌営業日を決算日といたします。)
	分配方針等	毎決算時に、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。当ファンドは分配金再投資専用です。よって、分配金は税金が差引かれた後、自動的に再投資されます。なお、収益の分配に充てなかった利益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。
	購入単位	(コモンズ投信の場合) 1万円以上1円単位 (委託会社が指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問合せください。
	購入価額	換金申込受付日の基準価額
	換金単位	(コモンズ投信の場合) 1円以上1円単位 (委託会社の指定した販売会社の場合) 販売会社によって異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
	換金価額	換金申込受付日の基準価額
	換金代金の支払い開始日	換金申込受付日から起算して5営業日目にお支払いします。
	申込締切時間	購入・換金ともに原則毎営業日の午後3時までです。午後3時を過ぎてのお申し込みは、翌営業日のお申込みとして取扱います。



ご注意事項

- ◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものです。
- ◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合があります。
- ◆投資信託の取得を希望される方は、コモンズ投信または委託会社が指定した販売会社でお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認くださいのうえ、ご自身の判断でお申し込みください。



関係法人

委託会社

コモンズ投信株式会社
〒102-0093
東京都千代田区平河町2-4-5 平河町Kビル5階

- ・金融商品取引業者
- ・関東財務局長（金商）第2061号
- ・加入協会 一般社団法人投資信託協会

お問い合わせ先
■コールセンター（受付時間／平日 午前10時～午後4時）
03-3221-8730
■ウェブサイト
<https://www.common30.jp/>